

コードレス・モバイルリーダー パラメータ設定ガイド

対応機種

MODEL 1662/1662H

MODEL 1664/1664H



ウェルコムデザイン株式会社 URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

本 社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
サポートデリバリーセンター (SDC) 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本 社 & SDC]
東 京 営 業 所 〒113-0034 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル
TEL. 03-3836-9411 (代) FAX. 03-3836-9412

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1年間とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジエーションなどの受信障害）が起ることがあります。

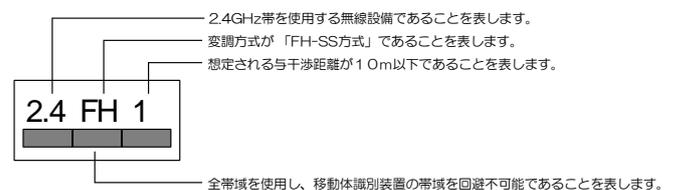
「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。

■ 電波の種類と干渉距離 ■



「レーザーに関する注意」



IEC Class II

1664シリーズには、Iマ-としてIEC 60825 クラスII 準拠のレーザーを使用しています。読取窓を覗いたり、レーザービ-ムを直視することは絶対にしないでください。

安全上の注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



■本装置を絶対に分解しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにし、コネクタを抜いて下さい。感電（火災）の原因になります。



 注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。ケースの変形や変色の原因になります。



INDEX

1. はじめに	11
2. システムコマンド	12
2.1. 基本システムコマンド	12
2.2. パラメータ設定値出力コマンド	13
3. リーダの簡単セットアップ	14
3.1. インターフェイスの初期化	14
3.1.1. BT-HID インターフェイスの初期化 (PC/PDA/Bluetooth トンネル経由)	14
3.1.2. BT-SPP スループ インターフェイスの初期化 (PC/PDA/Bluetooth トンネル経由)	14
3.1.3. BT-SPP マスターインターフェイスの初期化 (PC/PDA/Bluetooth トンネル経由)	15
3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化	17
3.1.5. タンクト USB インターフェイスの初期化	18
USB キーボード インターフェイスの初期化	18
USB ハブチャル COM (USB-COM) インターフェイスの初期化	18
3.2. フリックス/ホストフリックスの初期化	19
3.2.1. フリックス:無し/サフィックス:無し	19
3.2.2. フリックス:無し/サフィックス:CR (エンターキー)	19
3.2.3. フリックス:無し/サフィックス:エンターキー (テンキー)	20
3.2.4. フリックス:無し/サフィックス:TAB キー	20
3.2.5. フリックス:無し/サフィックス:実行キー (右 CTRL)	21
3.2.6. フリックス:無し/サフィックス:実行キー (右 ALT)	21
3.2.7. フリックス:無し/サフィックス:CR/LF	22
3.2.8. フリックス:STX/サフィックス:ETX	23
4. 一般動作に関するパラメータ	24
4.1. グットリッド LED/パイプレーション	24
4.2. グットリッド LED/パイプレーションの長さ	24
4.3. ビープの音量	25
4.4. グットリッドビープの音色	25
4.5. グットリッドビープの長さ	26
4.6. ノーリッド (NR) 送信	26
4.7. オートパワーオフ	27
4.8. パワーセービングモード	28
5. 読取動作に関するパラメータ	29
5.1. 読取モード	29
5.2. 読取タイムアウト	30
5.3. イミングタイムアウト	31
5.4. テーコードデレイ	32
5.5. 同一コード読取デレイ	32
5.6. 初 (反転) パーコード	33
5.7. 一次元パーコード読取照合回数	33
5.8. 一次元パーコードファズデーコードイック	33
5.9. アドオンコード読取照合回数	34
5.10. リーダの動作に関する設定	35
5.10.1. イミングパターン (1664 シリーズのみ有効)	35
5.10.2. テーコードイック照明 (1664 シリーズのみ有効)	35
5.10.3. ビックリストモード (1664 シリーズのみ有効)	35
5.10.4. ハンズオフ間隔	36
5.11. タイムスタンプに関する設定	37
5.11.1. タイムスタンプ付加位置	37
5.11.2. 日付/時刻出力指定	37
5.11.3. 年号フォーマット	38
5.11.4. 日付フォーマット	38
5.11.5. 日付/時刻フォーマット	38
5.11.6. 日付/時刻の設定	40
6. インターフェイスに関するパラメータ	41
6.1. HID インターフェイス	41
6.1.1. キーボードタイプ	41
6.1.2. CAPS ロック	42

6.1.3. 汎用パケット送信	42
6.1.4. 数字送信	42
6.1.5. 漢字送信(1664シリーズのみ有効)	42
6.1.6. キャラクタ間送信デバイス	43
6.1.7. iPhone/iPadキーボードシフト	43
6.1.8. ファンクション間送信デバイス	44
6.1.9. HID送信モード	44
6.2. パーシャルCOM/SPPインターフェイス	45
6.2.1. ファンクション間送信デバイス	45
6.2.2. ACK/NAKタイムアウト	46
6.2.3. ACK/NAKイラヒート	46
7. 読取モードに関するパラメータ	47
7.1. コードバース(NW7)	47
7.2. インターストリアル2/5	49
7.3. インターリーブ2/5	50
7.4. マトリクス2/5	52
7.5. コード39	54
7.6. コード93	56
7.7. コード128	57
7.8. ISBT-128	57
7.9. GS1-128(EAN-128)	58
7.10. GS1 Databar(RSS)	59
7.10.1. GS1 Databar Omnidirectional(RSS-14)	59
7.10.2. GS1 Databar Expanded(RSS Expanded)	60
7.10.3. GS1 Databar Limited(RSS Limited)	60
7.11. MSI	61
7.12. EAN-8(JAN-8)	63
7.13. EAN-13(JAN-13)	64
7.14. UCCケープコード	64
7.15. UPC-A	65
7.16. UPC-E	66
7.17. コップセットコード	67
7.18. 郵便コード	68
7.18.1. US郵便コード	68
7.18.2. UK郵便コード	68
7.18.3. 日本郵便コード/加算バーコード(1664シリーズのみ有効)	68
7.19. 二次元コード(1664シリーズのみ有効)	69
7.19.1. PDF417(1664シリーズのみ有効)	69
7.19.2. MicroPDF417(1664シリーズのみ有効)	69
7.19.3. DATA MATRIX(1664シリーズのみ有効)	69
7.19.4. MAXICODE(1664シリーズのみ有効)	70
7.19.5. QRコード(1664シリーズのみ有効)	70
7.19.6. MicroQRコード(1664シリーズのみ有効)	70
7.19.7. AZTEC(1664シリーズのみ有効)	70
7.20. Macro PDF(1664シリーズのみ有効)	71
7.20.1. 送信デバイスモード(1664シリーズのみ有効)	71
7.20.2. イスケープキャラクタ(1664シリーズのみ有効)	71
7.20.3. コントロールキャラクタ送信(1664シリーズのみ有効)	71
8. データフォーマットに関する設定	72
8.1. 大文字・小文字変換送信	72
8.2. キャラクタ置換	73
8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシボ	74
8.3. フリフィックス/サフィックス	78
8.4. コードID	79
8.4.1. ユーザーコードID	80
8.5. 読取データ桁数	85
8.6. マルチバーコードデータ	88
8.6. 指定キャラクタ削除	90
9. データ編集機能に関する設定	91

9.1. 編集ハーターン設定開始	92
9.2. 適用条件	93
9.2.1. 適用するシボ	93
9.2.2. 適用するデータ桁数	97
9.2.3. 適用する照合文字列	98
9.3. フィールド分指定義	99
9.4. フィールド送信順序	106
9.5. 編集ハーターンの有効化	107
10. 実行機能	108
10.1. 通信圏外実行機能	108
10.2. ハッチ	109
補足 A キーボードコード表 & ASCIIコード表	110
補足 B 16進数ハーターンコード & 特殊キーハーターンコード表	111
補足 C シリアルマニ	112
補足 D トラブルシューティング	113
補足 E サンプルハーターンコード	114
修理依頼書	116

Blank page

1. はじめに

この度は、弊社 1662/1664 シリーズコードレス・モバイルリーダー（以下、リーダー）をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、リーダーのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドを読み取ることで、リーダーのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

2. システムコマンド

2.1. 基本システムコマンド

コマンドバ -コード	説明
 8647116687323180	<p><u>設定開始</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、設定モード に入ります。</p>
 109999	<p><u>設定終了</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、パラメータ変更内容を保存し、設定モード を終了します。</p>
 109993	<p><u>全デフォルト</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、全パラメータを工場出荷時の値にリセット します。</p>
 109998	<p><u>設定キャンセル</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、パラメータ変更内容を元の状態に戻し ます。続けて、「設定終了」をスキャンすることで、元の状態のまま、設定モ ード を終了することができます。</p>
 109986	<p><u>カスタムデフォルトとして保存</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、パラメータ変更内容をカスタムデフォルトとして保 存します。</p>
 109987	<p><u>カスタムデフォルトでリセット</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、カスタムデフォルト値でリセット します。</p>
 109997	<p><u>ファームウェアアップデート</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、ファームウェアアップデートモード になります。</p> <p><u>ファームウェアファイル</u> K1xxx_V*.shx/STD1xxx_V.shx</p>
 109927	<p><u>USBブリッジファームウェアアップデート</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンすると、USBブリッジファームウェアアップデートモ ード になります。</p> <p><u>ブリッジファームウェアファイル</u> K1xxxBridge_V*.shx/STD1xxxBridge_V.shx</p>

2.2. パラメータ設定値出力コマンド

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 9 9 5 0	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 1 出力内容 : インタフェイス, プザ- , その他 \wedge - γ -トリダパラメータ	
 1 0 9 9 5 1	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 2 出力内容 : プリフィックス, ポストフィックス, γ - γ 桁数送信(1/2)	
 1 0 9 9 5 2	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 3 出力内容 : プリフィックス, ポストフィックス, γ - γ 桁数送信(2/2)	
 1 0 9 9 5 3	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 4 出力内容 : 読取 γ - γ ID	
 1 0 9 9 5 4	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 5 出力内容 : 読取 γ - γ (1/2)	
 1 0 9 9 5 5	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 6 出力内容 : 読取 γ - γ (2/2)	
 1 0 9 9 5 6	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 7 出力内容 : 読取 γ - γ パラメータ(1/3)	
 1 0 9 9 5 7	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 8 出力内容 : 読取 γ - γ パラメータ(2/3)	
 1 0 9 9 5 8	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 9 出力内容 : 読取 γ - γ パラメータ(3/3)	
 1 0 9 9 5 9	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 10 出力内容 : イメージャパラメータ, ビデオサインキャプチャパラメータ	
 1 0 9 9 3 7	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 11 出力内容 : デイットフォーマット 1(1/2)	
 1 0 9 9 3 8	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 12 出力内容 : デイットフォーマット 1(2/2)	
 1 0 9 9 3 9	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 13 出力内容 : デイットフォーマット 2(1/2)	
 1 0 9 9 4 0	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 14 出力内容 : デイットフォーマット 2(2/2)	
 1 0 9 9 4 1	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 15 出力内容 : デイットフォーマット 3(1/2)	
 1 0 9 9 4 2	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 16 出力内容 : デイットフォーマット 3(2/2)	
 1 0 9 9 4 3	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 17 出力内容 : デイットフォーマット 4(1/2)	
 1 0 9 9 4 4	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 18 出力内容 : デイットフォーマット 4(2/2)	
 1 0 9 9 4 5	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 19 出力内容 : デイットフォーマット 5(1/2)	
 1 0 9 9 4 6	パラメータ設定値出力 \wedge - γ 20 出力内容 : デイットフォーマット 5(2/2)	

3. リーダの簡単セットアップ

3.1. インターフェイスの初期化

3.1.1. BT-HID インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100006	BT-HID I/F 設定
 109907	キーボードタイプ番号 74 日本語 106/109 キーボード
 109904	
 109994	確定
 100065	キャラクタ単位送信 パケット送信(高速モード)にする場合は、読み飛ばしてください。
 109999	設定終了

- ※ デフォルトでは、PINコード認証は初になっています。また、PINコードのデフォルト値は、「0000」です。
- ※ PINコードの変更を行いたい場合は、「3.1.4. Bluetooth PINコードの初期化」を参照ください。

既に接続済みの場合は、上から順番に読み取って、現在の接続を切断してください。

 8647116687323180	設定開始
 109919	接続切断
 109999	設定終了

3.1.2. BT-SPP スレーブ インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100003	BT-SPP スレーブ I/F 設定
 109999	設定終了

- ※ デフォルトでは、PINコード認証は初になっています。また、PINコードのデフォルト値は、「0000」です。
- ※ PINコードの変更を行いたい場合は、「3.1.4. Bluetooth PINコードの初期化」を参照ください。
- ※ 通信圏外からの自動接続復帰は行えません。

3.1.3. BT-SPP マスターインターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth ドングル経由)

上から順番に読み取ってください。(無線式専用)

 8647116687323180	設定開始
 109993	デフォルト
 100007	BT-SPP マスター I/F 設定
 109999	設定終了

BD アドレスの設定

 88686471166254 BD アドレス設定 (設定開始/設定終了不要)	<p><u>接続先 BD アドレス設定</u> 左のデフォルトパケットをスキャンした後、続けて 10 秒以内に 0X で始まる BD アドレスをインコードしたパケットをスキャンします。下記のパケットは、BD アドレス 00D0176F0030 をインコードした場合の例です。「BD アドレス設定」「0X00D0176F0030」の順でスキャンします。</p>  0 X 0 0 D 0 1 7 6 F 0 0 3 0
	<p>BD アドレスを 16 進数パケットで設定したい場合は、代わりに</p>  1 0 0 1 5 0 BD アドレス設定 (16 進数)
	<p>をスキャンし、続けて、次頁の「16 進数パケット」で BD アドレスを 16 進数でスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。BD アドレス 00D0176F0030 の場合、「BD アドレス設定」「BD アドレス設定 (16 進数)」「0」「0」「D」「0」「1」「7」「6」「F」「0」「0」「3」「0」「確定」の順でスキャンします。</p>

- ※ デフォルトでは、PIN コード認証は初になっています。また、PIN コードのデフォルト値は、「0000」です。
- ※ PIN コードの変更を行いたい場合は、「3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化」を参照ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンド	説明	デフォルト
 100007	BT-SPP モード I/F 設定	
 109919	接続リセット/BT-SPP モード終了 設定された BD アドレスをクリアし、接続をリセットします。	

数値コマンド / 16 進数コマンド	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100155	フリット PIN コード (0000) を使用	0000
 100154	PIN コードを使用しない。(ラジック PIN コード)	■
 109973	PIN コードをクリア	
 100150	PIN コードを 16 進数 (Hex) で設定 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードを 16 進数でスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定できる PIN コードは、最大 16 文字です。例えば、1234 に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コードを 16 進数 (Hex) で設定」「3」「1」「3」「2」「3」「3」「3」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 100151	PIN コードを 10 進数で設定 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで ASCII コードを 10 進数でスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定できる PIN コードは、最大 16 文字です。例えば、1234 に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コードを 10 進数で設定」「4」「9」「5」「0」「5」「1」「5」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	

数値バーコード / 16 進数バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定



3.1.5. 近赤外線 USB インターフェイスの初期化

近赤外線 USB インターフェイスを有効にした場合、メモリーで蓄積したデータを USB インターフェイスケーブル経由で送信することができます。近赤外線 USB インターフェイスを無効にした場合は、Bluetooth 無線経由でデータ送信されます。

 # @ 1 0 0 0 1 8 #	近赤外線 USB インターフェイス 無効
--	----------------------

USB キーボード インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 0 0 0 9	USB キーボード インターフェイス
 1 0 9 9 0 7	日本語キーボード
 1 0 9 9 0 4	確定
 1 0 9 9 9 4	設定終了
 1 0 9 9 9 9	設定終了

USB バーチャル COM(USB-COM)インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 0 0 0 8	USB バーチャル COM(USB-COM)インターフェイス
 1 0 9 9 9 9	設定終了

[USB バーチャル COMドライバ](http://www.e-welcom.com/program/u306.zip) は下記より入手ください

<http://www.e-welcom.com/program/u306.zip>

3.2. フリックス/ホストフィックスの初期化

フリックスは読み取ったバーコードの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データです。

フリックス	バーコードデータ	サフィックス
-------	----------	--------

初期状態では、フリックス:無し、サフィックス:CR(インターキー)です。変更が必要な場合は、下記から希望する専用メニューバーコードを順番に読み取ってください。任意の文字列を設定したい場合は、「8.3. フリックス/ホストフィックス」を参照ください。

3.2.1. フリックス:無し/サフィックス:無し

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	フリックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:無し
 109994	確定
 109999	設定終了

3.2.2. フリックス:無し/サフィックス:CR(インターキー)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	フリックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:CR(インターキー)
 109900	0
 109913	D
 109994	確定
 109999	設定終了

3.2.3. プリフィックス:無し/サフィックス:エンターキー(テンキー)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:エンターキー(テンキー)
 109908	8
 109915	F
 109994	確定
 109999	設定終了

3.2.4. プリフィックス:無し/サフィックス:TABキー

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:TABキー
 109900	0
 109909	9
 109994	確定
 109999	設定終了

3.2.5. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー(右 CTRL)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:実行キー(右 CTRL)
 109901	1
 109912	C
 109994	確定
 109999	設定終了

3.2.6. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー(右 ALT)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:実行キー(右 ALT)
 109901	1
 109913	D
 109994	確定
 109999	設定終了

3.2.7. プリフィックス:無し/サフィックス:CR/LF

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:CR/LF
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 3	D
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 0	A
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.8. プリフィックス:STX/サフィックス:ETX

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:STX
 109900	0
 109902	2
 109994	確定
 101231	サフィックス:ETX
 109900	0
 109903	3
 109994	確定
 109999	設定終了

4. 一般動作に関するパラメータ

4.1. グットリッド LED/バンプレション

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 101013	グット LED 点灯 無し	
 101014	グット LED 点灯 有り	■
 102241	グットバンプレション動作 無し	■
 102242	グットバンプレション動作 有り (バンプレション搭載モデルのみ)	

4.2. グットリッド LED/バンプレションの長さ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
LED  101020 バンプレション  102253	グットリッド LED/バンプレションの長さ 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~254で、単位はLEDが10ミリ秒、バンプが100ミリ秒です。例えば、LEDを2秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「2」「0」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	040 (LED) 010 (バンプ)
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

4.3. ビープの音量

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101009	無し	
 101010	小	
 101011	中	
 101012	大	■

4.4. グットリドビープの音色

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101001	8KHz	
 101002	4KHz	■
 101003	2KHz	
 101004	1KHz	

4.5. グッドリードビープの長さ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101005	短い	■
 101006	普通	
 101007	長い	
 101008	最長	

4.6. ノーリード (NR)送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100266	無し	■
 100267	有り	

4.7. オートパワーオフ

オートパワーオフで設定された時間、アイドル状態が続くと、リーダは自動的に電源をオフします。但し、リーダが、下記の何れかの状態にある場合は、機能しません。

- 設定モードで動作している
- ベーススタンドにセットされ、プレゼンテーションモードで動作している

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101000	オートパワーオフ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~254です。例えば、15分に設定したい場合は、「設定開始」「オートパワーオフ」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

4.8. パワーセービングモード

設定された時間、アイドル状態が続くと、リダは自動的にパワーセービングモードに移行します。無効にしたい場合は、0を設定します。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 101021	パワーセービングモード 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は0~254です。例えば、15分に設定したい場合は、「設定開始」「イミグタイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5. 読取動作に関するパラメータ

5.1. 読取モード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100206	<u>レーザーモード</u> トリガボタンを押している間、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、スキャンを終了します。設定された読取タイムアウトを経過した場合もスキャンを終了します。	■
 100200	<u>オートモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。	
 100202	<u>オートパワーモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。設定された読取タイムアウト内にバーコードの読み取りに成功しなければ、スキャンを終了します。バーコードの読み取りに成功すると、読取タイムアウトはリセットされ、再加算されます。	
 100208	<u>イメージモード</u> トリガボタンを一度押すと、ビームを照射し、イメージモードに移行します。設定されたイメージタイムアウト内に再度トリガボタンを押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。このモードは、ビームで目的のバーコードを確実に狙った後、スキャンを行いたい場合に使用します。	
 100209	<u>マルチバーコードモード</u> トリガボタンを押している間、読取タイムアウトに関係無くスキャンを試みます。このモードは、一度に複数のバーコードをスキャンしたい場合に使用します。	

5.2. 読取タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

- レザモード
- オトオモード
- オトパワーオモード
- イミングモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースト	説明	デフォルト
 100235	読取タイムアウト 左のコマンドバーストをスキャンした後、続けて下記の数値バーストで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーストをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、15秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10
数値バースト		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.3. イミグ タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

➤ イミグモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 100226	イミグ タイムアウト 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ -コード をスキャンします。 設定範囲は 0~15 です。例えば、15 秒に設定したい場合は、「設 定開始」「イミグ タイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャン します。	1
数値バ -コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.4. デコード delay

このパラメータは、次の読取モードに有効です。

➤ オートパワーオフモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100227	無し	
 100228	0.5 秒	■
 100229	1 秒	
 100230	2 秒	

5.5. 同一コード読取 delay

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100216	100 ミリ秒	
 100217	200 ミリ秒	
 100218	400 ミリ秒	■
 100219	800 ミリ秒	
 100220	1 秒	
 100221	2 秒	
 100222	3 秒	
 100223	5 秒	

5.6. 初 (反転)バ -コード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 100224	読み取り 無し	■
 100225	読み取り 有り	

5.7. 一次元バ -コード 読取照合回数

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 100262	無し	■
 100263	1回	
 100264	2回	

5.8. 一次元バ -コード ファザ -デ コーデ イク

このオプションを「有り」に設定すると、一次元バ -コード のデ コーデ イク が最適化されます。二次元バ -コード のデ コーデ イク に時間がかかるようであれば、このオプションを「無し」に設定してお試しください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 102116	無し	
 102117	有り	■

5.9. プロファイル 読取照合回数

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コード	説明	デフォルト
 100380	プロフィール 読取照合回数 左のコードをスキャンした後、続けて下記の数値コードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了コードをスキャンします。設定範囲は2~30です。例えば、10回に設定したい場合は、「設定開始」「プロフィール 読取照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2
数値コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.10. リーダの動作に関する設定

5.10.1. EIMING パターン(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102130	無し	
 102131	有り	■

5.10.2. デコディック照明(1664 シリーズのみ有効)

通常、このオプションを「有り」にした方が、より良い品質のイメージキャプチャ及びデコディックが行えます。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102128	無し	
 102129	有り	■

5.10.3. ピックリストモード (1664 シリーズのみ有効)

このオプションを「有り」にすると、中央レザ EIMING パターンの下にあるバーコードのみを読み取ります。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102200	無し	■
 102201	有り	

5.10.4. ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ 間隔

ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ を鳴動する間隔を設定します。ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ は、下記の条件で鳴動します。

Bluetooth HID 接続

ﾘｰﾀﾞ がﾊﾟｰｾﾞｰｲﾝｸﾞ ｰﾄﾞ で動作中に、PC 側で「Scroll Lock」, 「Num Lock」, 「Caps Lock」が押されると、ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ (ﾋﾟﾋﾟｯ) を設定された間隔で鳴動します。ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ は、電源ﾊﾞｯﾄﾘｶﾞﾊﾞｯﾄﾘが押されるか、ﾊﾟｰｾﾞｰｲﾝｸﾞ ｰﾄﾞ で設定された時間が経過する迄、鳴動し続けます。

Bluetooth SPP 接続

ﾘｰﾀﾞ がﾊﾟｰｾﾞｰｲﾝｸﾞ ｰﾄﾞ で動作中に、SPP ﾎｰﾄで何らかの信号を受信すると、ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ (ﾋﾟﾋﾟｯ) を設定された間隔で鳴動します。ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ は、電源ﾊﾞｯﾄﾘｶﾞﾊﾞｯﾄﾘが押されるか、ﾊﾟｰｾﾞｰｲﾝｸﾞ ｰﾄﾞ で設定された時間が経過する迄、鳴動し続けます。

ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ 鳴動を無効にしたい場合は、0 に設定します。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定ｷｬﾝｾﾙ  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

ｺｰﾄﾞ	説明	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
 1 0 1 0 2 5	ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ 間隔 左のｺｰﾄﾞ をｷﾞﾝｼﾞﾝｼﾞﾝ した後、続けて下記の数値ｺｰﾄﾞ で 2 桁迄の数値をｷﾞﾝｼﾞﾝｼﾞﾝ し、最後に設定終了ｺｰﾄﾞ をｷﾞﾝｼﾞﾝｼﾞﾝ します。設定範囲は 0~15 です。例えば、15 秒に設定したい場合は、「設定開始」「ｵｰｼﾞﾁｰﾌﾞ ｰﾌﾟ 間隔」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でｷﾞﾝｼﾞﾝｼﾞﾝ します。	5
数値ｺｰﾄﾞ		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

5.11. タイムスタンプに関する設定

5.11.1. タイムスタンプ 付加位置

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101315	無し	■
 101316	データの前	
 101317	データの後	

5.11.2. 日付/時刻出力指定

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101322	年 (YY/YYYY) 出力 無し	
 101321	年 (YY/YYYY) 出力 有り	■
 101324	月 (MM) 出力 無し	
 101323	月 (MM) 出力 有り	■
 101326	日 (DD) 出力 無し	
 101325	日 (DD) 出力 有り	■
 101328	時 (hh) 出力 無し	
 101327	時 (hh) 出力 有り	■
 101330	分 (mm) 出力 無し	
 101329	分 (mm) 出力 有り	■
 101332	秒 (ss) 出力 無し	
 101331	秒 (ss) 出力 有り	■

5.11.3. 年号フォーマット

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 101313	西暦 4 桁 (YYYY) フォーマット	■
 101314	西暦 2 桁 (YY) フォーマット	

5.11.4. 日付フォーマット

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 101318	年/月/日	■
 101319	月/日/年	
 101320	日/月/年	

5.11.5. 日付/時刻セパレータ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 101310	<p><u>日付/時刻/デセパレータ</u></p> <p>左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バースコードで ASCII コードを 1 文字分 (2 桁) スキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。例えば、-(2Dhex) と設定したい場合は、「設定開始」「日付/時刻/デセパレータ」「2」「D」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「日付/時刻/デセパレータ」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。</p> <p>例) 日付/時刻/デセパレータ*、読取データ ABCD の場合 YYYY/MM/DD*hh:mm:ss*ABCD</p>	2D (-)

 <p>1 0 1 3 1 1</p>	<p>年/月/日^レタ</p> <p>左の^レタ^レバ^レコード^レを^レタ^レキ^レツ^レした^レ後^レ、^レ続^レけ^レて^レ下^レ記^レの^レ16^レ進^レ数^レバ^レコード^レで^レASCII^レコード^レを^レ1^レ文字^レ分^レ(^レ2^レ桁^レ)^レタ^レキ^レツ^レし^レ、^レ最^レ後^レに^レ設^レ定^レ終^レ了^レバ^レコード^レを^レタ^レキ^レツ^レし^レま^レす。例^レえ^レば、/(2Fhex)と^レ設^レ定^レし^レた^レい^レ場^レ合^レは、「設^レ定^レ開^レ始^レ」「年/月/日^レタ」^レ2^レ」「F^レ」「確^レ定^レ」「設^レ定^レ終^レ了^レ」の^レ順^レで^レタ^レキ^レツ^レし^レま^レす。何^レも^レ設^レ定^レし^レた^レく^レない^レ場^レ合^レは、「設^レ定^レ開^レ始^レ」「年/月/日^レタ」^レ確^レ定^レ」「設^レ定^レ終^レ了^レ」の^レ順^レで^レタ^レキ^レツ^レし^レま^レす。</p> <p>例)年/月/日^レタ^レ*^レの^レ場^レ合 YYYY*MM*DD</p>	<p>2F (/)</p>
 <p>1 0 1 3 1 2</p>	<p>年/月/日^レタ</p> <p>左の^レタ^レバ^レコード^レを^レタ^レキ^レツ^レした^レ後^レ、^レ続^レけ^レて^レ下^レ記^レの^レ16^レ進^レ数^レバ^レコード^レで^レASCII^レコード^レを^レ1^レ文字^レ分^レ(^レ2^レ桁^レ)^レタ^レキ^レツ^レし^レ、^レ最^レ後^レに^レ設^レ定^レ終^レ了^レバ^レコード^レを^レタ^レキ^レツ^レし^レま^レす。例^レえ^レば、:(3Ahex)と^レ設^レ定^レし^レた^レい^レ場^レ合^レは、「設^レ定^レ開^レ始^レ」「時/分/秒^レタ」^レ3^レ」「A^レ」「確^レ定^レ」「設^レ定^レ終^レ了^レ」の^レ順^レで^レタ^レキ^レツ^レし^レま^レす。何^レも^レ設^レ定^レし^レた^レく^レない^レ場^レ合^レは、「設^レ定^レ開^レ始^レ」「時/分/秒^レタ」^レ確^レ定^レ」「設^レ定^レ終^レ了^レ」の^レ順^レで^レタ^レキ^レツ^レし^レま^レす。</p> <p>例)時/分/秒^レタ^レ*^レの^レ場^レ合 hh*mm*ss</p>	<p>3A (:)</p>
<p>16 進数バ^レコード</p>		
<p>0</p>  <p>1 0 9 9 0 0</p>	<p>1</p>  <p>1 0 9 9 0 1</p>	
<p>2</p>  <p>1 0 9 9 0 2</p>	<p>3</p>  <p>1 0 9 9 0 3</p>	
<p>4</p>  <p>1 0 9 9 0 4</p>	<p>5</p>  <p>1 0 9 9 0 5</p>	
<p>6</p>  <p>1 0 9 9 0 6</p>	<p>7</p>  <p>1 0 9 9 0 7</p>	
<p>8</p>  <p>1 0 9 9 0 8</p>	<p>9</p>  <p>1 0 9 9 0 9</p>	
<p>A</p>  <p>1 0 9 9 1 0</p>	<p>B</p>  <p>1 0 9 9 1 1</p>	
<p>C</p>  <p>1 0 9 9 1 2</p>	<p>D</p>  <p>1 0 9 9 1 3</p>	
<p>E</p>  <p>1 0 9 9 1 4</p>	<p>F</p>  <p>1 0 9 9 1 5</p>	
<p>確定</p>  <p>1 0 9 9 9 4</p>		

5.11.6. 日付/時刻の設定

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
<p>年の設定</p>  109970	<p>日付/時刻の設定 左の何れかのコマンドバ-コード をスキャンした後、続けて設定値をスキャンし、最後に設定終了バ-コード をスキャンします。</p> <p>年の設定例) 2012 年に設定する場合 「設定開始」「年の設定」「2」「0」「1」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。</p> <p>日付の設定例) 11 月 20 日に設定する場合 「設定開始」「日付の設定」「1」「1」「2」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。</p> <p>時刻の設定例) 18 時 59 分に設定する場合 「設定開始」「時刻の設定」「1」「8」「5」「9」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。</p>	
<p>日付の設定</p>  109971		
<p>時刻の設定</p>  109972		
数値バ-コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6. イターフェイスに関するパラメータ

6.1. HID イターフェイス

6.1.1. キーボードタイプ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
USB 対外 HID  100009 Bluetooth HID  100006	<u>HID イターフェイス</u> 左の何れかのコマンドバースコードをスキャンした後、続けて 2 桁のキーボードタイプ番号をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。キーボードタイプ番号は下記の表を参照ください。例えば、日本語 USB キーボードに設定する場合は、「設定開始」「キーボードイターフェイス」「7」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	64
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

キーボードタイプ番号表			
NO	キーボードタイプ	NO	キーボードタイプ
64	PC-AT (US)	74	PS55 A01-2(日本語キーボード)
65	PC-AT (French)	75	-
66	PC-AT (German)	76	PC-AT(Turkish)
67	PC-AT (Italy)		
68	PC-AT (Swedish)		
69	PC-AT (Norweigian)		
70	PC-AT (UK)		
71	PC-AT (Belgium)		
72	PC-AT (Spanish)		
73	PC-AT (Portuguese)		

6.1.2. CAPS 切り

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100052	CAPS 切りオン	■
 100053	CAPS 切りオフ	
 100054	自動検出*	

※ 自動検出は、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。

6.1.3. アルファベット送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100050	大文字・小文字を考慮	■
 100051	CAPS 切り状態に従う	

6.1.4. 数字送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100040	フルキーボード	■
 100041	テンキーボード	

6.1.5. 漢字送信(1664シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100066	漢字送信オン	■
 100067	漢字送信オフ	

6.1.6. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 100011	キャラクタ間送信デレイ 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ-コードをスキャンします。設定範囲は0~254(設定値表を参照)です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バ-コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

※ iOS の Safari ブラウザ でデータ落ちが発生する場合は、キャラクタ間デレイを 20 ミリ秒以上に設定してください。

6.1.7. iPhone/iPad キーボードレイアウト

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 100176	iPhone/iPad キーボードレイアウト	
 100175	その他のキーボードレイアウト	■

※ ファームウェアバージョン v.1.18 以降で使用可能な設定です。

6.1.8. ファンクション間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100012	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は0~254(設定値表を参照)です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

6.1.9. HID 送信モード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100064	バッチ送信	■
 100065	キャラクタ送信	

※ PC側でデータの桁落ちなどが発生する場合は、「キャラクタ送信」をお試しください。

6.2. パーチャル COM/SPP インターフェイス

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100008	USB 仮想 COM インターフェイスを使用する	
 100003	Bluetooth SPP スレーブ インターフェイスを使用する	
 100007	Bluetooth SPP マスター インターフェイスを使用する	

6.2.1. ファクション間送信遅延

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100012	ファクション間送信遅延 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は0~254(設定値表を参照)です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファクション間送信遅延」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

※ ファクション間送信遅延は、ファクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

6.2.2. ACK/NAK タイムアウト

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100013	<p>ACK/NAK タイムアウト 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は0~99(0.1秒単位)です。例えば、1秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK/NAK タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。</p> <p>ACK/NAK 動作 リータは、読取データ送信後、ここで設定された時間 ACK/NAK 応答を待ちます。何の応答も得られない場合、3回迄読取データを再送し、全て失敗した場合は、その読取データを破棄します。</p>	0
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6.2.3. ACK/NAK エラーレフト

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100014	無し	■
 100015	有り	

7. 読取コードに関するパラメータ

7.1. コーダバ - (NW7)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ - コード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 2	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 3	読み取り有り	■
 1 0 0 4 3 6	スタート/ストップ キャラクタ abcd/abcd	■
 1 0 0 4 3 7	スタート/ストップ キャラクタ abcd/tn*e	
 1 0 0 4 3 8	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/ABCD	
 1 0 0 4 3 9	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/TN*E	
 1 0 0 4 4 0	スタート/ストップ キャラクタ送信無し	■
 1 0 0 4 4 1	スタート/ストップ キャラクタ送信有り	
 1 0 0 4 4 2	CLSI 変換無し	■
 1 0 0 4 4 3	CLSI 変換有り	
 1 0 2 2 2 2	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 2 2 2 1	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツパコード	説明	デフォルト
 102223	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマツパコードをスキャンした後、続けて下記の数値マツパコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了マツパコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 102224	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマツパコードをスキャンした後、続けて下記の数値マツパコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了マツパコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4

数値マツパコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
確定  109994	

7.2. イダ ストリアル 2/5

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 100306	読み取り無し	
 100307	読み取り有り	■
 100601	最大/最小読取桁数検査	■
 100600	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	
 100602	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のコマンドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで 3 桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ-コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 100603	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のコマンドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで 3 桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ-コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バ-コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.3. イターリーブド 2/5

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドコード	説明	デフォルト
 100308	読み取り無し	
 100309	読み取り有り	■
 102122	チェックサム検査無し	■
 102123	チェックサム検査有り (USS)	
 102124	チェックサム検査有り (QPCC)	
 100430	チェックサム送信無し	
 100431	チェックサム送信有り	■
 102100	ITF14→EAN-13 変換無し	■
 102101	ITF14→EAN-13 変換有り	
 100605	最大/最小読取桁数検査	■
 100604	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツドバ-コード	説明	デフォルト
 100606	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマツドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ-コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 100607	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマツドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ-コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バ-コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.4. マトリクス 2/5

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 0	読み取り無し	■
 1 0 0 3 1 1	読み取り有り	
 1 0 0 4 3 2	チェックビット検査無し	■
 1 0 0 4 3 3	チェックビット検査有り	
 1 0 0 4 3 4	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 3 5	チェックビット送信有り	■
 1 0 0 6 0 9	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 8	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツパコード	説明	デフォルト
 100610	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマツパコードをスキャンした後、続けて下記の数値パコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了パコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 100611	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマツパコードをスキャンした後、続けて下記の数値パコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了パコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4

数値パコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
確定  109994	

7.5. コード 39

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 0	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 1	読み取り有り	■
 1 0 0 4 0 4	チェックビット検査無し	
 1 0 0 4 0 5	チェックビット検査有り	
 1 0 0 4 0 6	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 0 7	チェックビット送信有り	■
 1 0 0 4 0 0	ルアスキー読み取り無し	■
 1 0 0 4 0 1	ルアスキー読み取り有り	
 1 0 2 2 1 8	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 2 2 1 7	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツドバ-コード	説明	デフォルト
 102219	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマツドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ-コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 102220	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマツドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ-コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バ-コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.6. コード 93

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コードバース	説明	デフォルト
 100314	読み取り無し	
 100315	読み取り有り	■
 102226	最大/最小読取桁数検査	■
 102225	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	
 102227	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のコードバースをスキャンした後、続けて下記の数値バースで 3 桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースをスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 102228	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のコードバースをスキャンした後、続けて下記の数値バースで 3 桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースをスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バース		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.7. コード 128

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100316	読み取り無し	
 100317	読み取り有り	■

7.8. ISBT-128

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100354	読み取り無し	
 100355	読み取り有り	■
 102237	連結無し	
 102238	連結有り	
 102239	連結自動識別	■

7.9. GS1-128(EAN-128)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 100318	読み取り無し	■
 100319	読み取り有り	
 100518	コマ ID "JCL" 送信無し	■
 100519	コマ ID "JCL" 送信有り	
 100616	GS(FNC1)置換キャラクタ 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコマをスキャンし、最後に設定終了バ-コードをスキャンします。例えば、@(40hex)に設定したい場合は、「設定開始」「GS(FNC1)置換キャラクタ」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	00

16進数バ-コード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

7.10. GS1 Databar(RSS)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 5 1 7	GS1 Databar コード ID "1C1" を使用	
 1 0 0 5 1 6	GS1-128 コード ID "1e0" を使用	■
 1 0 2 1 0 2	UPC/EAN 変換無し	■
 1 0 2 1 0 3	UPC/EAN 変換有り	

7.10.1. GS1 Databar Omnidirectional(RSS-14)

下記の GS1 Databar が、このグループに含まれます。

- GS1 Databar Omnidirectional
- GS1 Databar Truncated
- GS1 Databar Stacked

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 9	読み取り有り (GS1 Databar Expanded 含む)	
 1 0 0 5 2 2	コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 3	コード ID 送信有り	■
 1 0 0 5 2 8	アプリケーション ID "01" 送信無し	
 1 0 0 5 2 9	アプリケーション ID "01" 送信有り	■

7.10.2. GS1 Databar Expanded(RSS Expanded)

下記の GS1 Databar が、このグループに含まれます。

- GS1 Databar Expanded
- GS1 Databar Expanded Stacked

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 9	読み取り有り (GS1 Databar Omnidirectional 含む)	
 1 0 0 5 2 6	RSS-Expanded コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 7	RSS-Expanded コード ID 送信有り	■

7.10.3. GS1 Databar Limited(RSS Limited)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 5 0	読み取り無し	■
 1 0 0 3 5 1	読み取り有り	
 1 0 0 5 2 4	コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 5	コード ID 送信有り	■
 1 0 0 5 3 0	アプリケーション ID "01" 送信無し	
 1 0 0 5 3 1	アプリケーション ID "01" 送信有り	■
 1 0 0 4 8 2	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 8 3	チェックビット送信有り	■

7.11. MSI

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100344	読み取り無し	■
 100345	読み取り有り	
 100448	チェックシートタイプ シングル-枚 10 10	■
 100449	チェックシートタイプ ダブル-枚 10 10	
 100450	チェックシートタイプ 枚 10 10 & 11	
 100452	チェックシート送信(最後1桁)無し	■
 100453	チェックシート送信(2桁両方)有り	
 100454	チェックシート送信(2桁両方)無し	
 100613	最大/最小読取桁数検査	■
 100612	固定読取桁数1/固定読取桁数2検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツパコード	説明	デフォルト
 100614	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマツパコードをスキャンした後、続けて下記の数値マツパコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了マツパコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 100615	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマツパコードをスキャンした後、続けて下記の数値マツパコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了マツパコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4

数値マツパコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
確定  109994	

7.12. EAN-8(JAN-8)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100326	読み取り無し	
 100327	読み取り有り	■
 100328	アトカ2 読み取り無し	■
 100329	アトカ2 読み取り有り	
 100330	アトカ5 読み取り無し	■
 100331	アトカ5 読み取り有り	

7.13. EAN-13(JAN-13)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 100332	読み取り無し	
 100333	読み取り有り	■
 100334	ア-カ2 読み取り無し	■
 100335	ア-カ2 読み取り有り	
 100336	ア-カ5 読み取り無し	■
 100337	ア-カ5 読み取り有り	
 100462	ISBN 変換無し	■
 100463	ISBN 変換有り	
 100464	ISSN 変換無し	■
 100465	ISSN 変換有り	

7.14. UCC ク-ホ-コード

下記のバ-コードをUCC ク-ホ-コードとみなします。

- 5で始まるUPC-A
- 99で始まるEAN-13
- UPC-A/EAN-128 ク-ホ-コード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 102002	読み取り無し	■
 102003	読み取り有り	

7.15. UPC-A

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100338	読み取り無し	
 100339	読み取り有り	■
 100340	アトカ2 読み取り無し	■
 100341	アトカ2 読み取り有り	
 100342	アトカ5 読み取り無し	■
 100343	アトカ5 読み取り有り	
 100476	システムコマンド送信無し	
 100477	システムコマンド送信有り	■
 100468	チェックビット送信無し	
 100469	チェックビット送信有り	■

7.16. UPC-E

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドコード	説明	デフォルト
 100320	読み取り無し	
 100321	読み取り有り	■
 100322	アトカ2 読み取り無し	■
 100323	アトカ2 読み取り有り	
 100324	アトカ5 読み取り無し	■
 100325	アトカ5 読み取り有り	
 100479	UPC-E0(システム番号-0)&E1(システム番号-1)両方を読み取り	
 100478	UPC-E0(システム番号-0)のみ読み取り有り	■
 100456	UPC-A 変換無し	■
 100457	UPC-A 変換有り	
 100474	システム番号-送信無し	■
 100475	システム番号-送信有り	
 100466	チェックビット送信無し	
 100467	チェックビット送信有り	■

7.17. コンポジットコード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102008	CC-A/B 読み取り無し	■
 102009	CC-A/B 読み取り有り	
 102010	CC-C 読み取り無し	■
 102011	CC-C 読み取り有り	
 102012	TLC-39 読み取り無し	■
 102013	TLC-39 読み取り有り	
 102112	UPC コンポジット UPC リンク無し	
 102113	UPC コンポジット UPC リンク有り	■
 102114	UPC コンポジット UPC リンク自動識別	
 102104	UCC/EAN コンポジット GS-128 読み取り無し	■
 102105	UCC/EAN コンポジット GS-128 読み取り有り	

7.18. 郵便コード

7.18.1. US 郵便コード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102016	US Postnet 読み取り無し	
 102017	US Postnet 読み取り有り	■
 102018	US Planet 読み取り無し	
 102019	US Planet 読み取り有り	
 102110	チェックシート送信無し	
 102111	チェックシート送信有り	■

7.18.2. UK 郵便コード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102020	読み取り無し	
 102021	読み取り有り	■
 102108	チェックシート送信無し	
 102109	チェックシート送信有り	■

7.18.3. 日本郵便コード/カスタムバーコード (1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102022	読み取り無し	
 102023	読み取り有り	■

7.19. 二次元コード (1664 シリーズのみ有効)

7.19.1. PDF417(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102032	読み取り無し	
 102033	読み取り有り	■

7.19.2. MicroPDF417(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102034	読み取り無し	■
 102035	読み取り有り	

7.19.3. DATA MATRIX(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102036	読み取り無し	
 102037	読み取り有り	■
 102118	ミラーイメージ 読み取り無し	■
 102119	ミラーイメージ のみ読み取り有り	
 102120	ミラーイメージ 読み取り有り	

7.19.4. MAXICODE(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102038	読み取り無し	
 102039	読み取り有り	■

7.19.5. QR コード (1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102040	読み取り無し	
 102041	読み取り有り	■

7.19.6. MicroQR コード (1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102042	読み取り無し	
 102043	読み取り有り	■

7.19.7. AZTEC(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102045	読み取り無し	
 102044	読み取り有り	■

7.20. Macro PDF(1664 シリーズのみ有効)

7.20.1. 送信・デコードモード (1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102186	全シボルをバッファ後、一括送信	
 102187	デコード後、各データを都度送信(順序関係無し)	
 102190	パスル(処理無し, ホスト側にて解析・処理)	■

7.20.2. イスケープキャラクタ(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102196	GLI フォント無し	■
 102198	GLI フォント有り	

7.20.3. コントロールタグ送信(1664 シリーズのみ有効)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102194	コントロールタグ送信無し	■
 102195	コントロールタグ送信有り	

8. データフォーマットに関する設定

読取データは、下記の基本データフォーマットに従って、送信されます。

基本データフォーマット				
プレフィックス	コード ID	読取データ桁数	読取データ	サフィックス

プレフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

コード ID

無し、任意のキャラクタ又はコード ID セット 1~5 の何れかを送信することができます。

読取データ桁数

読取データ桁数送信を有りに設定した場合、常に 2 バイト長でバコード桁数が送信されます。

Ex.1) バコードが 8 桁の場合 08

Ex.2) バコードが 40 桁の場合 40

読取データ

読取データが送信されます。また、データ編集機能を使うことで、読取データを任意に編集することも可能です。

サフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

8.1. 大文字・小文字変換送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コードバコード	説明	デフォルト
 101202	そのまま送信(変換無し)	■
 101203	全て大文字送信(大文字変換)	
 101204	全て小文字送信(小文字変換)	■

8.2. キャラクタ置換

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101232	キャラクタ置換セット1 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、@(40hex)をA(40hex)に置換したい場合は、「設定開始」キャラクタ置換セット1「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 また、指定キャラクタを除去することも可能で、例えば、@(40hex)を除去したい場合は、「設定開始」キャラクタ置換セット1「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 101233	キャラクタ置換セット2 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
 101234	キャラクタ置換セット3 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
16進数バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

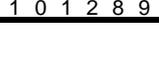
- ※ キャラクタ置換は、データセット前の読取データに対してのみ適用されます。
- ※ キャラクタ置換は、3組まで定義でき、この機能を使用して、指定キャラクタを除去することも可能です。

8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシンボル

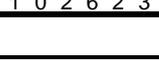
設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コードバーコード	説明	デフォルト
 101252	コードバー (NW7) に適用しない	
 101253	コードバー (NW7) に適用する	■
 101240	コード 39 に適用しない	
 101241	コード 39 に適用する	■
 101254	コード 93 に適用しない	
 101255	コード 93 に適用する	■
 101256	コード 128 に適用しない	
 101257	コード 128 に適用する	■
 101258	EAN-128 (GS1-128) に適用しない	
 101259	EAN-128 (GS1-128) に適用する	■
 101266	EAN-8 (JAN-8) に適用しない	
 101267	EAN-8 (JAN-8) に適用する	■
 101268	EAN-8 (JAN-8) アドバンス 2 に適用しない	
 101269	EAN-8 (JAN-8) アドバンス 2 に適用する	■
 101270	EAN-8 (JAN-8) アドバンス 5 に適用しない	
 101271	EAN-8 (JAN-8) アドバンス 5 に適用する	■
 101272	EAN-13 (JAN-13) に適用しない	
 101273	EAN-13 (JAN-13) に適用する	■
 101274	EAN-13 (JAN-13) アドバンス 2 に適用しない	
 101275	EAN-13 (JAN-13) アドバンス 2 に適用する	■

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 6	EAN-13 (JAN-13) アドホック 5 に適用しない	
 1 0 1 2 7 7	EAN-13 (JAN-13) アドホック 5 に適用する	■
 1 0 1 2 4 4	レジスタコード に適用しない	
 1 0 1 2 4 5	レジスタコード に適用する	■
 1 0 1 2 4 2	イタリアンコード に適用しない	
 1 0 1 2 4 3	イタリアンコード に適用する	■
 1 0 1 2 4 6	インターリアル 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 7	インターリアル 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 4 8	インターリーブド 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 9	インターリーブド 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 5 0	マトリクス 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 5 1	マトリクス 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 8 4	MSI に適用しない	
 1 0 1 2 8 5	MSI に適用する	■
 1 0 1 2 8 6	PLESSEY に適用しない	
 1 0 1 2 8 7	PLESSEY に適用する	■
 1 0 1 2 9 0	RSS (GS1 Databar) に適用しない	
 1 0 1 2 9 1	RSS (GS1 Databar) に適用する	■
 1 0 1 2 8 8	Telepen に適用しない	
 1 0 1 2 8 9	Telepen に適用する	■

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 8	UPC-A に適用しない	
 1 0 1 2 7 9	UPC-A に適用する	■
 1 0 1 2 8 0	UPC-A アドカ2 に適用しない	
 1 0 1 2 8 1	UPC-A アドカ2 に適用する	■
 1 0 1 2 8 2	UPC-A アドカ5 に適用しない	
 1 0 1 2 8 3	UPC-A アドカ5 に適用する	■
 1 0 1 2 6 0	UPC-E に適用しない	
 1 0 1 2 6 1	UPC-E に適用する	■
 1 0 1 2 6 2	UPC-E アドカ2 に適用しない	
 1 0 1 2 6 3	UPC-E アドカ2 に適用する	■
 1 0 1 2 6 4	UPC-E アドカ5 に適用しない	
 1 0 1 2 6 5	UPC-E アドカ5 に適用する	■
 1 0 2 6 1 2	コポジット CC-C に適用しない	
 1 0 2 6 1 3	コポジット CC-C に適用する	■
 1 0 2 6 1 4	コポジット TLC-39 に適用しない	
 1 0 2 6 1 5	コポジット TLC-39 に適用する	■
 1 0 2 6 1 8	US Postnet に適用しない	
 1 0 2 6 1 9	US Postnet に適用する	■
 1 0 2 6 2 0	US Planet に適用しない	
 1 0 2 6 2 1	US Planet に適用する	■
 1 0 2 6 2 2	UK Postal に適用しない	
 1 0 2 6 2 3	UK Postal に適用する	■

 1 0 2 6 2 4	日本郵便コード (カヌコード) に適用しない	
 1 0 2 6 2 5	日本郵便コード (カヌコード) に適用する	■
 1 0 2 6 3 4	PDF417 に適用しない	
 1 0 2 6 3 5	PDF417 に適用する	■
 1 0 2 6 3 6	MicroPDF417 に適用しない	
 1 0 2 6 3 7	MicroPDF417 に適用する	■
 1 0 2 6 3 8	Data Matrix に適用しない	
 1 0 2 6 3 9	Data Matrix に適用する	■
 1 0 2 6 4 0	Maxicode に適用しない	
 1 0 2 6 4 1	Maxicode に適用する	■
 1 0 2 6 4 2	QR コード に適用しない	
 1 0 2 6 4 3	QR コード に適用する	■
 1 0 2 6 4 4	MicroQR に適用しない	
 1 0 2 6 4 5	MicroQR に適用する	■
 1 0 2 6 4 6	Aztec に適用しない	
 1 0 2 6 4 7	Aztec に適用する	■

8.3. フリックス/サックス

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 101230	フリックス 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バ-コードをスキャンします。例えば、12(31hex,32hex)と設定したい場合は、「設定開始」フリックス「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」フリックス「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 101231	サックス 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バ-コードをスキャンします。例えば、12(31hex,32hex)と設定したい場合は、「設定開始」サックス「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」サックス「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	

16進数バ-コード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

- ※ 「補足 B 16進数バ-コード & 特殊キ-バ-コード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キ-のコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キ-は、1キャラクタとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16進数バ-コード & 特殊キ-バ-コード表」を使って、スキャンコードを最大4スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.4. ｺｰﾄﾞ ID

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

ｺｰﾄﾞﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	説明	デフォルト
 109961	ｺｰﾄﾞ ID セット 1 を使用	
 109962	ｺｰﾄﾞ ID セット 2 を使用	
 109963	ｺｰﾄﾞ ID セット 3 を使用	
 109964	ｺｰﾄﾞ ID セット 4 を使用	
 109965	ｺｰﾄﾞ ID セット 5 を使用	

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞｼﾝﾎﾞﾙ	ｺｰﾄﾞ ID セット 1	ｺｰﾄﾞ ID セット 2	ｺｰﾄﾞ ID セット 3	ｺｰﾄﾞ ID セット 4	ｺｰﾄﾞ ID セット 5
ｺｰﾄﾞ 39	A	C	Y	M	A
ｲﾀﾘｱﾝﾌﾞﾗﾝﾄﾞ	A	C	Y	M	A
ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ	A	C	Y	M	A
ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2/5	C	H	H	H	S
ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5	D	I	Z	I	S
ﾏﾄﾘｸｽ 2/5	E	G	G	G	S
ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)	F	N	X	N	F
ｺｰﾄﾞ 93	I	L	L	L	G
ｺｰﾄﾞ 128	H	K	K	K	C
UPC-E	S	E	C	E	E
EAN-8(JAN-8)	P	B	B	FF	E
EAN-13(JAN-13)	M	A	A	F	E
UCP-A	J	A	A	A	E
MSI	V	V	D	P	M
UCCｸｰﾎﾟﾝｺｰﾄﾞ	G	F	I	C	C
ｺｰﾄﾞ 11	K	J	J	D	H
ｺｰﾄﾞ ｼﾞｪｯﾄ CC-A/B	L	X	M	J	La
ｺｰﾄﾞ ｼﾞｪｯﾄ CC-C	N	Y	N	O	Lc
ｺｰﾄﾞ ｼﾞｪｯﾄ TLC-39	O	Z	O	R	L2
US Postnet	h	a	s	i	X
US Planet	i	b	t	j	X
UK Postal	j	c	u	k	X
日本郵便ｺｰﾄﾞ	k	d	v	l	X
PDF417	a	O	W	T	L
MicroPDF417	b	P	V	U	L
Data Matrix	c	Q	U	V	d
Maxicode	d	R	T	W	U
QR ｺｰﾄﾞ	e	S	S	X	Q
MicroQR	f	T	R	Y	Q
Aztec	g	U	Q	Z	z
IATA	z	z	r	h	S
Macro PDF417	p	i	a	q	L
Macro MicroPDF417	q	j	b	r	L

8.4.1. 1-ザ-3-ド ID

1-ザ-3-ド ID を定義したいバ-3-ド シボ ルイ° をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-3-ド で ASCII 3-ド を最大 2 キャク分スキャンし、最後に設定終了バ-3-ド をスキャンします。例えば、12(31hex, 32hex)と設定したい場合は、「設定開始」「定義したいバ-3-ド シボ ルイ°」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

バ-3-ド シボ ルイ°	
3-ダ バ-(NW7)  101456	3-ド 39  101450
3-ド 93  101457	3-ド 128  101458
EAN-8 (JAN-8)  101460	EAN-13 (JAN-13)  101461
16 進数バ-3-ド	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

- ※ 「補足 B 16 進数バ-3-ド & 特殊キバ-3-ド 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーの3ビットネーション(SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n)を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キャクとして、加付されます。
- ※ 「補足 B 16 進数バ-3-ド & 特殊キバ-3-ド 表」を使って、スキャン3-ド を最大 4 スキャン3-ド まで定義することができます。スキャン3-ド は特殊な3-ド のため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

バーコード シンボルタイプ	
フロンツァーコード  101452	ｲﾘｱﾝツァーコード  101451
ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2/5  101453	ｲﾝﾀｰﾘｰﾄﾞ 2/5  101454
マトリクス 2/5  101455	MSI  101463
UPC-A  101462	UPC-E  101459

16 進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定



- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのシフトネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キャラクとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、シフトキーを最大 4 シフトキーまで定義することができます。シフトキーコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

16進数バーコード	
コード 11  102567	UCCケ-ポ-コード  102565
コ-ポ-ット CC-A/B  102568	コ-ポ-ット CC-C  102569
コ-ポ-ット TLC-39  102570	US Postnet  102572
US Planet  102573	UK Postal  102574

16進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定



- ※ 「補足 B 16進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのシフトネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、シフトコードを最大 4 シフトコードまで定義することができます。シフトコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

16進数バーコード	
日本郵便コード (加付バーコード)  102575	PDF417  102580
MicroPDF417  102581	Data Matrix  102582
Maxicode  102583	QRコード  102584
MicroPDF417  102585	Aztec  102586

16進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

- ※ 「補足 B 16進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加付されます。
- ※ 「補足 B 16進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

16進数バーコード	
IATA  102587	Macro PDF417  102588
Macro MicroPDF417  102589	全コード ID 設定クリア  109960
16進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.5. 読取データ桁数

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 4 1 2	コマバー (NW7) に適用しない	■
 1 0 1 4 1 3	コマバー (NW7) に適用する	
 1 0 1 4 0 0	コード 39 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 1	コード 39 に適用する	
 1 0 1 4 1 4	コード 93 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 5	コード 93 に適用する	
 1 0 1 4 1 6	コード 128 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 7	コード 128 に適用する	
 1 0 1 4 1 8	GS1-128 & GS1 Databar に適用しない	■
 1 0 1 4 1 9	GS1-128 & GS1 Databar に適用する	
 1 0 1 4 2 2	EAN-8 (JAN-8) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 3	EAN-8 (JAN-8) に適用する	
 1 0 1 4 2 4	EAN-13 (JAN-13) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 5	EAN-13 (JAN-13) に適用する	
 1 0 1 4 0 4	フロッチファーマコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 5	フロッチファーマコード に適用する	
 1 0 1 4 0 2	イタリアンファーマコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 3	イタリアンファーマコード に適用する	
 1 0 1 4 0 6	インダストリアル 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 7	インダストリアル 2/5 に適用する	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

 1 0 1 4 0 8	インターブド 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 9	インターブド 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 1 0	マトリクス 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 1	マトリクス 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 2 8	MSI に適用しない	■
 1 0 1 4 2 9	MSI に適用する	
 1 0 1 4 3 2	Telepen に適用しない	■
 1 0 1 4 3 3	Telepen に適用する	
 1 0 1 4 2 6	UPC-A に適用しない	■
 1 0 1 4 2 7	UPC-A に適用する	
 1 0 1 4 2 0	UPC-E に適用しない	■
 1 0 1 4 2 1	UPC-E に適用する	
 1 0 2 5 0 2	UCC クーポンコード に適用しない	■
 1 0 2 5 0 3	UCC クーポンコード に適用する	
 1 0 2 5 0 6	コード 11 に適用しない	■
 1 0 2 5 0 7	コード 11 に適用する	
 1 0 2 5 0 8	コボジット CC-A/B に適用しない	■
 1 0 2 5 0 9	コボジット CC-A/B に適用する	
 1 0 2 5 1 0	コボジット CC-C に適用しない	■
 1 0 2 5 1 1	コボジット CC-C に適用する	
 1 0 2 5 1 2	コボジット TLC-39 に適用しない	
 1 0 2 5 1 3	コボジット TLC-39 に適用する	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

 1 0 2 5 1 6	US Postnet に適用しない	■
 1 0 2 5 1 7	US Postnet に適用する	
 1 0 2 5 1 8	US Planet に適用しない	■
 1 0 2 5 1 9	US Planet に適用する	
 1 0 2 5 2 0	UK Postal に適用しない	■
 1 0 2 5 2 1	UK Postal に適用する	
 1 0 2 5 2 2	日本郵便コード (カタガ -コード) に適用しない	■
 1 0 2 5 2 3	日本郵便コード (カタガ -コード) に適用する	
 1 0 2 5 3 2	PDF417 に適用しない	■
 1 0 2 5 3 3	PDF417 に適用する	
 1 0 2 5 3 4	MicroPDF417 に適用しない	■
 1 0 2 5 3 5	MicroPDF417 に適用する	
 1 0 2 5 3 6	Data Matrix に適用しない	■
 1 0 2 5 3 7	Data Matrix に適用する	
 1 0 2 5 3 8	Maxicode に適用しない	■
 1 0 2 5 3 9	Maxicode に適用する	
 1 0 2 5 4 0	QR コード に適用しない	■
 1 0 2 5 4 1	QR コード に適用する	
 1 0 2 5 4 2	MicroQR に適用しない	■
 1 0 2 5 4 3	MicroQR に適用する	
 1 0 2 5 4 4	Aztec に適用しない	■
 1 0 2 5 4 5	Aztec に適用する	

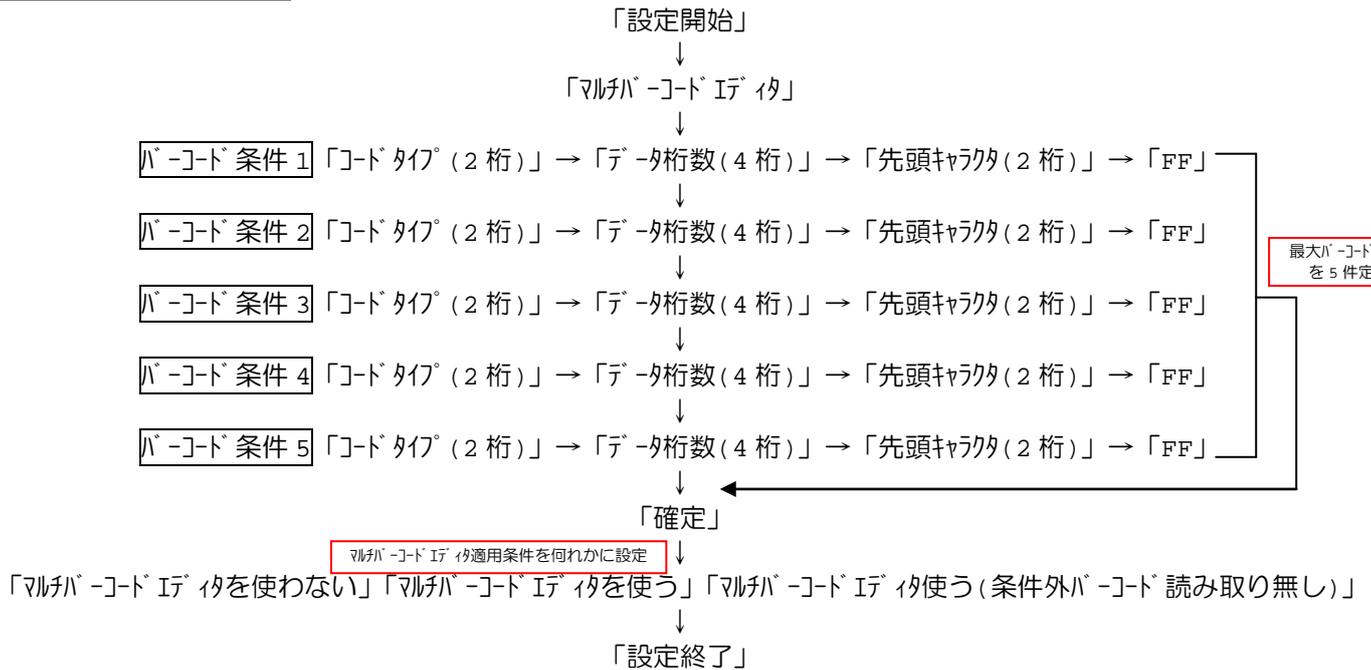
8.6. マルチバ-コード イテ-タ

マルチバ-コード イテ-タオプションを使うと、条件に合った最大 5 つまでのバ-コード シンボルをスキャンし、それらを定義された順番通りに連結して、1 つの読取データとして、送信することができます。但し、全データの桁数が 2,042 バイトを超えることはできません。2,042 バイトを超えた場合、マルチバ-コード イテ-タオプションは、機能しません。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
コマンドバ-コード  100650	説明 マルチバ-コード イテ-タ 次頁のマルチバ-コード イテ-タ設定用-を参照ください。	デフォルト
マルチバ-コード イテ-タ適用条件		
マルチバ-コード イテ-タを使わない  100617	マルチバ-コード イテ-タを使う  100618	マルチバ-コード イテ-タ使う (条件外バ-コード 読み取り無し)  100619
16 進数バ-コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

- ※ マルチバ-コード イテ-タオプションは、マルチバ-コード モード (読取モード) には対応しません。
- ※ マルチバ-コード イテ-タオプションを有効にすると、強制的にレザ-モード (読取モード) が適用されます。

マルチバ-コード 設定



「コードタイプ (2桁)」

下記のコードタイプ表で目的のバ-コード シンボルに対応する 16 進数値を調べ、16 進数バ-コード で検索します。

「デ-タ桁数 (4桁)」

対象とするデ-タ桁数を 0000~0128 の範囲で検索します。0000 は全てのデ-タ桁数が対象となります。

「先頭キャラクタ (2桁)」

対象とする先頭キャラクタの ASCII コード 2 桁を 16 進数バ-コード で検索します。00 は全ての先頭キャラクタが対象となります。

「FF」

各バ-コード 条件の設定区切りを意味する FF を検索します。

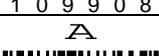
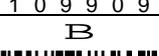
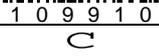
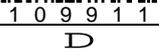
コードタイプ表			
コードタイプ	バ-コード シンボル	コードタイプ	バ-コード シンボル
41(A)	コード 39		
42(B)	イタリアンコード		
43(C)	N/A		
44(D)	インタリアル 2/5	64(d)	TLC-39
45(E)	インターコード 2/5	65(e)	Triopticコード 39
46(F)	マトリクス 2/5		
47(G)	コダバ (NW7)	67(g)	コード 11
48(K)	コード 93		
49(I)	コード 128		
4A(J)	UPC-E0/UPC-E1	6A(j)	コダバ ヴット CC-C
4B(K)	UPC-E 7桁 2	6B(k)	PDF417
4C(L)	UPC-E 7桁 5	6C(l)	MicroPDF417
4D(M)	EAN-8 (JAN-8)	6D(m)	Data Matrix
4E(N)	EAN-8 7桁 2	6E(n)	Maxicode
4F(O)	EAN-8 7桁 5	6F(o)	QRコード
50(P)	EAN-13 (JAN-13)	70(p)	US Postnet
51(Q)	EAN-13 7桁 2	71(q)	US Planet
52(R)	EAN-13 7桁 5	72(r)	UK Postal
53(S)	MSI	73(s)	日本郵便コード
54(T)	N/A	74(t)	オーストラリア郵便コード
55(U)	GS1-128	75(u)	オランダ郵便コード
56(V)	UPC-A	76(v)	コダバ ヴット CC-A/B
57(W)	UPC-A 7桁 2	77(w)	Macro PDF417
58(X)	UPC-A 7桁 5	78(x)	Macro MicroPDF417
		79(y)	チャイナ スト 2/5
5A(Z)	N/A	7A(z)	Aztec
5B()	GS1 Databar	7B()	MicroQR
		7C()	USPS 4CB/One Code
		7D()	UPU FICS Postal
		7E(~)	UCC グローバルコード

8.6. 指定キャラクタ削除

指定されたキャラクタを読取データから削除します。検索は読取データの最初から行われ、指定キャラクタが見つかったら、別のキャラクタに当たるまで、指定キャラクタを削除します。例えば、指定キャラクタを 0 (30hex) に設定した場合、削除後は下記のような結果になります。

読取データ	削除後のデータ
123000123	123123
045600123	456000123
ABCD00EFG0HIJ	ABCDEFGHIJ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースト	説明	デフォルト
 100650	指定キャラクタ削除 左のコマンドバーストをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーストで ASCII コードを 1 文字分 (2 桁) スキャンし、最後に設定終了バーストをスキャンします。例えば、1 (31hex) と設定したい場合は、「設定開始」「指定キャラクタ削除」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「指定キャラクタ削除」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
16 進数バースト		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

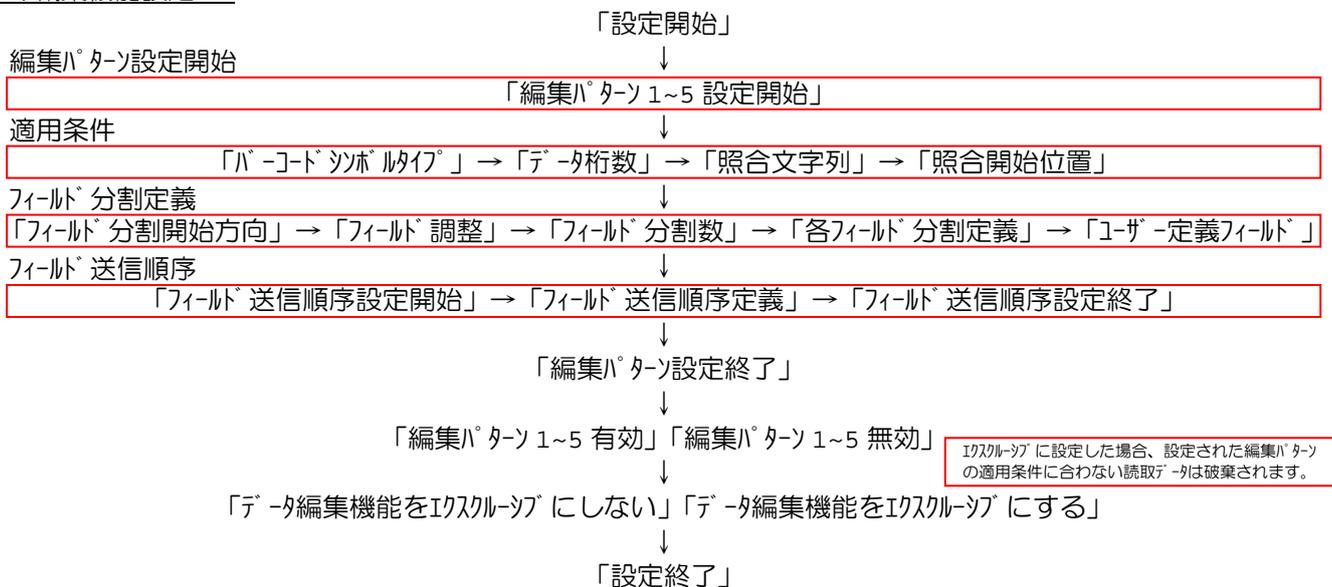
9. データ編集機能に関する設定

データ編集機能を使うことで、読取データを指定条件に従って、マルチプルに編集することができます。
下記にデータ編集機能の特徴を列挙します。

- ✓ 編集パターンを最大 5 パターン(編集パターン 1~5)迄登録することが可能です。
- ✓ 編集パターンは、個別に有効/無効に設定することが可能です。
- ✓ 各編集パターンには、下記の適用条件を指定することが可能です。
 - ・バーコードシンボルタイプ
 - ・データ桁数
 - ・照合文字列・照合文字列位置
- ✓ 文字列照合又は文字数を基準として、読取データを最大 6 フィールドに分割可能です。
- ✓ ユーザー定義フィールドを最大 5 つ(ユーザー定義フィールド 1~5)迄登録することが可能です。
- ✓ 分割したフィールド及びユーザー定義フィールドを任意の順序で送信可能です。
送信順序は、最大 12 フィールドの範囲で定義でき、各フィールドは重複送信することも可能です。

※ データ編集機能を使用した場合の最大データ桁数は、4,084 桁です。但し、マルチバーコード(読取E-ト)又はマルチバーコードE-トが有効な場合は、2,042 桁となります。

データ編集機能設定フロー



9.1. 編集パターン設定開始

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

設定を開始する編集パターン1~5の選択		
 109981	編集パターン1	
 109982	編集パターン2	
 109983	編集パターン3	
 109984	編集パターン4	
 109985	編集パターン5	

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

9.2. 適用条件

9.2.1. 適用するツボ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コード	説明	デフォルト
 109992	全ツボに適用する	■
 109991	全ツボに適用しない	
 101512	コード (NW7) に適用しない	
 101513	コード (NW7) に適用する	■
 101500	コード 39 に適用しない	
 101501	コード 39 に適用する	■
 101514	コード 93 に適用しない	
 101515	コード 93 に適用する	■
 101516	コード 128 に適用しない	
 101517	コード 128 に適用する	■
 101518	GS1-128 & GS1 Databar に適用しない	
 101519	GS1-128 & GS1 Databar に適用する	■
 101526	EAN-8 (JAN-8) に適用しない	
 101527	EAN-8 (JAN-8) に適用する	■
 101528	EAN-8 追加 2 に適用しない	
 101529	EAN-8 追加 2 に適用する	■
 101530	EAN-8 追加 5 に適用しない	
 101531	EAN-8 追加 5 に適用する	■

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

 1 0 1 5 3 2	EAN-13 (JAN-13) に適用しない	
 1 0 1 5 3 3	EAN-13 (JAN-13) に適用する	■
 1 0 1 5 3 4	EAN-13 外 2 に適用しない	
 1 0 1 5 3 5	EAN-13 外 2 に適用する	■
 1 0 1 5 3 6	EAN-13 外 5 に適用しない	
 1 0 1 5 3 7	EAN-13 外 5 に適用する	■
 1 0 1 5 0 2	イタリアフォーマット に適用しない	
 1 0 1 5 0 3	イタリアフォーマット に適用する	■
 1 0 1 5 0 6	インターストリアル 2/5 に適用しない	
 1 0 1 5 0 7	インターストリアル 2/5 に適用する	■
 1 0 1 5 0 8	インターブド 2/5 に適用しない	
 1 0 1 5 0 9	インターブド 2/5 に適用する	■
 1 0 1 5 1 0	マトリクス 2/5 に適用しない	
 1 0 1 5 1 1	マトリクス 2/5 に適用する	■
 1 0 1 5 4 4	MSI に適用しない	
 1 0 1 5 4 5	MSI に適用する	■
 1 0 1 5 3 8	UPC-A に適用しない	
 1 0 1 5 3 9	UPC-A に適用する	■
 1 0 1 5 4 0	UPC-A 外 2 に適用しない	
 1 0 1 5 4 1	UPC-A 外 2 に適用する	■

編集ボタン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集ボタン設定終了  1 0 9 9 8 0
---	---

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

 101522	UPC-E アド カ 2 に適用しない	
 101523	UPC-E アド カ 2 に適用する	■
 101524	UPC-E アド カ 5 に適用しない	
 101525	UPC-E アド カ 5 に適用する	■
 101622	UCC クーポンコード に適用しない	
 101623	UCC クーポンコード に適用する	■
 101626	コード 11 に適用しない	
 101627	コード 11 に適用する	■
 101628	コボジット CC-A/B に適用しない	
 101629	コボジット CC-A/B に適用する	■
 101630	コボジット CC-C に適用しない	
 101631	コボジット CC-C に適用する	■
 101632	コボジット TLC-39 に適用しない	
 101633	コボジット TLC-39 に適用する	■
 101636	US Postnet に適用しない	
 101637	US Postnet に適用する	■
 101638	US Planet に適用しない	
 101639	US Planet に適用する	■
 101640	UK Postal に適用しない	
 101641	UK Postal に適用する	■

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

 101642	日本郵便コード (カスタムコード) に適用しない	
 101643	日本郵便コード (カスタムコード) に適用する	■
 101652	PDF417 に適用しない	
 101653	PDF417 に適用する	■
 101654	MicroPDF417 に適用しない	
 101655	MicroPDF417 に適用する	■
 101656	Data Matrix に適用しない	
 101657	Data Matrix に適用する	■
 101658	Maxicode に適用しない	
 101659	Maxicode に適用する	■
 101660	QR コード に適用しない	
 101661	QR コード に適用する	■
 101662	MicroQR に適用しない	
 101663	MicroQR に適用する	■
 101664	Aztec に適用しない	
 101665	Aztec に適用する	■

編集ボタン全デフォルト  109990	編集ボタン設定終了  109980
--	--

9.2.2. 適用するデータ桁数

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
適用するデータ桁数の設定		
 101561	最大データ桁数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで4桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~4,084です。	0
 101560	最小データ桁数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで4桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~4,084です。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

9.2.3. 適用する照合文字列

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

適用する照合文字列の設定		
コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 101562	照合文字列 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンします。最大4文字が設定可能です。	
適用する照合文字列の照合開始位置の設定		
 101563	照合開始位置 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~4,084です。0を設定した場合は、開始位置に関係無く、照合文字列が読取データ内に存在するかがチェックされます。	
16進数バ-コード / 数値バ-コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

9.3. フィールド 分割定義

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

フィールド 分割開始方向の設定		
コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 101600	先頭から後方へ 読取データの先頭から後方へ向かって、フィールド 分割を行います。	■
 101601	後方から先頭へ 読取データの後方から先頭へ向かって、フィールド 分割を行います。	
フィールド 調整の設定		
 101602	調整しない 調整をおこないません。	■
 101603	調整する 桁数が指定より少ない場合、スペース(20hex)を補填します。	
分割フィールド 数の設定		
 101590	フィールド を 1 つに分割	■
 101591	フィールド を 2 つに分割	
 101592	フィールド を 3 つに分割	
 101593	フィールド を 4 つに分割	
 101594	フィールド を 5 つに分割	
 101595	フィールド を 6 つに分割	

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド分割定義		
フィールド 1 の分割定義		
コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 101567	指定文字列で分割 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンドバ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101566	桁数で分割 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4,084 です。	
指定文字列を含める  101565	指定文字列を含めない  101564	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

編集バ -ター全デフォルト  109990	編集バ -ター設定終了  109980
--	--

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド 分割定義		
フィールド 2 の分割定義		
コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 101571	指定文字列で分割 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンドバ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101570	桁数で分割 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4,084 です。	
指定文字列を含める  101569	指定文字列を含めない  101568	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

編集バ -ター全デフォルト  109990	編集バ -ター設定終了  109980
--	--

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド分割定義		
フィールド 3 の分割定義		
コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 101575	指定文字列で分割 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンドバ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101574	桁数で分割 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4,084 です。	
指定文字列を含める  101573		指定文字列を含めない  101572
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  109900		1  109901
2  109902		3  109903
4  109904		5  109905
6  109906		7  109907
8  109908		9  109909
A  109910		B  109911
C  109912		D  109913
E  109914		F  109915
確定  109994		

編集バ -ター全デフォルト  109990	編集バ -ター設定終了  109980
--	--

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド分割定義		
フィールド 4 の分割定義		
コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 101579	指定文字列で分割 左のコマンドバ -コード を実行した後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード を実行します。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンドバ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101578	桁数で分割 左のコマンドバ -コード を実行した後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値を実行します。設定範囲は 1~4,084 です。	
指定文字列を含める  101577		指定文字列を含めない  101576
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  109900		1  109901
2  109902		3  109903
4  109904		5  109905
6  109906		7  109907
8  109908		9  109909
A  109910		B  109911
C  109912		D  109913
E  109914		F  109915
確定  109994		

編集バ -ター全デフォルト  109990	編集バ -ター設定終了  109980
--	--

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド[®]分割定義

フィールド[®] 5 の分割定義

コマンド [®] バ [®] -コード	説明	デフォルト
 101583	指定文字列で分割 左のコマンド [®] バ [®] -コード [®] をスキャンした後、続けて下記の16進数バ [®] -コード [®] でASCIIコード [®] をスキャンします。最大2文字が設定可能です。また、下記のコマンド [®] バ [®] -コード [®] で、分割後のフィールド [®] に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101582	桁数で分割 左のコマンド [®] バ [®] -コード [®] をスキャンした後、続けて下記の数値バ [®] -コード [®] で3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は1~4,084です。	

指定文字列を含める  101581	指定文字列を含めない  101580
--	---

16進数バ[®]-コード[®] / 数値バ[®]-コード[®]

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定  109994

編集バ [®] -ター [®] 全デフォルト  109990	編集バ [®] -ター [®] 設定終了  109980
---	---

※ フィールド[®] 5 で分割され残った部分が自動的に、フィールド[®] 6 に割り付けられます。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

ユーザ定義フィールドの設定

設定したいユーザ定義フィールドに対応するコマンドコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バースコードでASCIIコードをスキャンします。最大4文字が設定可能です。ポーズフィールドの場合は、ポーズしたい秒数を数値バースコードでスキャンします。範囲は、1~16で、単位は、秒です。

ユーザ定義フィールド 1  101584	ユーザ定義フィールド 2  101585	ユーザ定義フィールド 3  101586
ユーザ定義フィールド 4  101587	ユーザ定義フィールド 5  101588	ポーズフィールド  101604

16進数バースコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

編集バースコード全デフォルト  109990	編集バースコード設定終了  109980
---	---

- ※ 「補足 B 16 進数バースコード & 特殊キバースコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1文字として、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バースコード & 特殊キバースコード表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

9.4. フィルト`送信順序

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

フィルト`送信順序設定開始	
 101589	
フィルト` 1  109901	フィルト` 2  109902
フィルト` 3  109903	フィルト` 4  109904
フィルト` 5  109905	フィルト` 6  109906
ユーザー定義フィルト` 1  109907	ユーザー定義フィルト` 2  109908
ユーザー定義フィルト` 3  109909	ユーザー定義フィルト` 4  109910
ユーザー定義フィルト` 5  109911	ホースフィルト`  109912
フィルト`送信順序設定終了	
 109994	

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

9.5. 編集パターンの有効化

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドコード	説明	デフォルト
 101300	編集パターン1 無効	■
 101301	編集パターン1 有効	
 101302	編集パターン2 無効	■
 101303	編集パターン2 有効	
 101304	編集パターン3 無効	■
 101305	編集パターン3 有効	
 101306	編集パターン4 無効	■
 101307	編集パターン4 有効	
 101308	編集パターン5 無効	■
 101309	編集パターン5 有効	
 101200	データ編集機能をイクスルーブにしない	■
 101201	データ編集機能をイクスルーブにする	

※ データ編集機能をイクスルーブに設定した場合、設定された編集パターンの適用条件に合わない読取データは、全て破棄されます。

10. メリ機能

10.1. 通信圏外メリ機能

通信圏外メリ機能を有効にすることで、通信圏外でキャプされたパケットデータをメモリに蓄積し、通信圏内に復帰すると、メリしたデータを自動送信させることができます。メモリ一杯になると、アラーム（低音のブザー）が鳴動し、赤色 LED が一時点灯します。

通信圏外メリ機能が無効な状態で、通信圏外でキャプを行うと、アラーム（低音のブザー）が鳴動し、赤色 LED が一時点灯します。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドパケット	説明	デフォルト
 1 0 1 0 1 6	通信圏外メリ機能 無効	
 1 0 1 0 1 5	通信圏外メリ機能 有効	■

※ 蓄積されたメモリ内のデータは、リセットの電源が切になったり、電池が完全に無くなってしまうと、消滅します。復帰させることはできませんので、ご注意ください。

✓ SPP マスター及び SPP スレーブ 接続では、通信圏外メリ機能は、正しく動作しません。

10.2. バッチモード

バッチモードを有効にすると、リダはスキャンしたバコードデータを都度無線送信せずに(無線接続無し)、内蔵のフラッシュメモリに蓄積していきます。蓄積したデータは、「メモリデータ送信」で無線送信され、「メモリデータ消去」で消去されます。メモリが一杯になると、リダは2回のヨビビープ(高音→低音)を鳴動します。この場合は、「メモリデータ送信」でデータを送信してください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバコード	説明	デフォルト
 100236	バッチモード 無効	■
 100237	バッチモード 有効	
 100238	バコード間送信デレイ 無し	■
 100239	バコード間送信デレイ 250 ミリ秒	
 100240	バコード間送信デレイ 500 ミリ秒	
 100241	バコード間送信デレイ 1 秒	
 100242	バコード間送信デレイ 2 秒	
 100243	バコード間送信デレイ 3 秒	
 100244	バコード間送信デレイ 5 秒	
 100245	バコード間送信デレイ 8 秒	
 109918	メモリデータ送信	
 109916 ↓  109917	<u>メモリデータ消去</u> メモリ内のデータを全て消去する場合は、上から順番にスキャンします。	

補足 A キーボードコード表 & ASCIIコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0		F2	SP	0	@	P	`	p	(0)
1	INS	F3	!	1	A	Q	a	q	(1)
2	DLT	F4	"	2	B	R	b	r	(2)
3	HOME	F5	#	3	C	S	c	s	(3)
4	END	F6	\$	4	D	T	d	t	(4)
5	UP	F7	%	5	E	U	e	u	(5)
6	DOWN	F8	&	6	F	V	f	v	(6)
7	LEFT	F9	'	7	G	W	g	w	(7)
8	BS	F10	(8	H	X	h	x	(8)
9	HT	F11)	9	I	Y	i	y	(9)
A	LF	F12	*	:	J	Z	j	z	
B	RIGHT	ESC	+	;	K	[k	{	
C	PgUp	Exec	,	<	L	¥	l		
D	CR		-	=	M]	m	}	
E	PgDn		.	>	N	^	n	~	
F	F1		/	?	O	_	o	DLY	CR*

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

1. ファンクションキーは、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。
2. CR*はキーボードの ENTER キーを意味します。
3. DLY は 100 ミリ秒のデレイタイムを意味します。
4. (0)...(9) はキーボードの 0~9 を意味します。
5. 空白部分は未使用のキャラクタです。

補足 B 16 進数バ - コド & 特殊キ - バ - コド 表

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

キ - タイ プ	
ノーマル  109926	スキャンコード  109936
キ - ス テ - 奴	
SHIFT +  109930	左 CTRL +  109931
右 CTRL +  109933	左 ALT +  109932
右 ALT +  109934	
ユ - ザ - 定 義 ス キ ャ ン コ ド	
スキャンコード 設定  109988	スキャンコード 確定  109989
16 進 数 バ - コ ド	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

※ キ - タイ プ , キ - ス テ - 奴 , ユ - ザ - 定 義 ス キ ャ ン コ ド は、キ - ボ - ド イ ン タ - フ ェ イ / USB キ - ボ - ド イ ン タ - フ ェ イ 専 用 の パ ラ メ タ で す。

補足 C シリアルコマンド

RS232C インターフェイスのリーダーはシリアルコマンドに対応しています。
専用シリアルコマンドを送信することでリーダーの設定を変更したり、動作を制御することが可能になります。

下記にシリアルコマンドフォーマットを示します。

シリアルコマンドフォーマット

[#@nnnnnn<CR>](#) * <CR>はキャリッジリターン 0Dhex

nnnn には、本書のコマンドバースト下にある 6 桁の数字が入ります。設定開始コマンドは必要ありません。

例)

#@102242<CR>	ゲットリードバーストリーダー有り
#@100307<CR>	インダストリアル 2/5 読み取り有り
#@109999<CR>	設定終了

シリアルコマンドで設定変更を行った場合でも設定終了コマンドを発行せずにリーダーの電源を切にすると、設定内容は消えてしまいます。不揮発性メモリに保存したい場合は、電源を切にする前に設定終了コマンドを発行してください。

特別なシリアルコマンド

[D](#) 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、動作を一時休止します。

[E](#) 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

[#@----<CR>](#) 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、動作を一時休止します。

[#@...<CR>](#) 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

[#@////<CR>](#) 読取バーストコマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、読取バーストを鳴らします。この時読取 LED も点灯させます。

[#@TRIGON<CR>](#) トリガ ON コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、バーストの読み取りを開始します。

[#@TRIGOFF<CR>](#) トリガ OFF コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、バーストの読み取りを終了します。

※ シリアルコマンドを送信する場合、各コマンド間に最低 500msec の間隔を空けて送信してください。また、設定終了やキャンセルなどリーダーのリセット動作を伴うコマンドの場合は、1 秒以上間隔を空けるようにしてください。

補足 D トラブルシューティング

電源が入らない

- ✓ 充電電池パックは正しくセットされていますか？
- ✓ 十分な充電はされていますか？
- ✓ 充電電池パックの寿命ではありませんか？

バーコードを読み取らない

- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 汚れたバーコード、劣化したプリンターで印刷したバーコード、複写したバーコードなど、品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- ✓ 対象のバーコードタイプを読み取れるように設定していますか？
- ✓ チェックゲージが付加されていないバーコードに対して、チェックゲージ検査有りとして設定していませんか？
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

バーコードを読み取りづらい

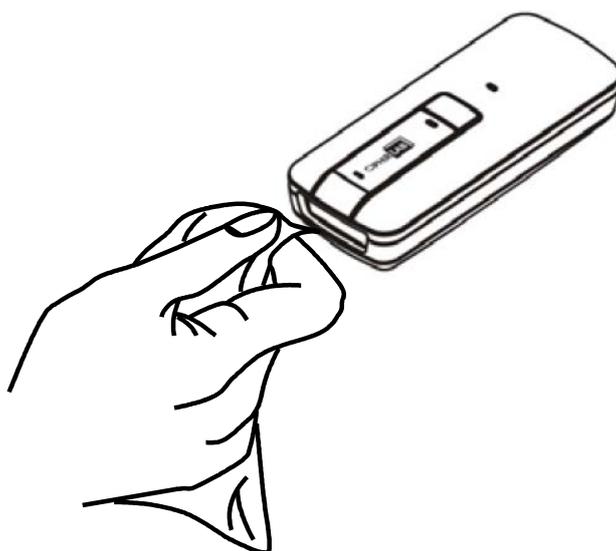
- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となります。
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

PC にデータが入らない

- ✓ インターフェイスケーブルは正しく接続されていますか？
- ✓ Bluetooth接続は正しく行われていますか？
- ✓ リーダーがメモリーカードで動作していませんか？
- ✓ リーダーのインターフェイス設定は間違っていないですか？
「3. リーダーの簡単セットアップ」を参照ください。

その他

- ✓ リーダーの読取窓が汚れていると、バーコードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



※ 症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

補足 E サンプルコード

コード 39



JAN-13



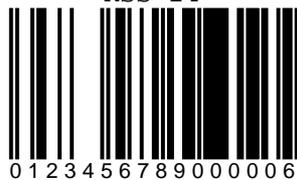
インターコード 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14



PDF417



PDF417 Sample

データマトリクス



DataMatrix

Aztec



Aztec

QR (モデル 2)



QR CODE MODEL 2

反転 QR (モデル 2)



QR Nega

